

# **セットアップ サーバ管理機能**

# セットアップ

## 1.概要

- Express5800 のセットアップは、EXPRESSBUILDER を使用してディスクアレイのコンフィグレーションや OS のインストール等を行う
- Windows NT Server 4.0 の自動インストールツールとして ExpressPicnic を提供

## 2.EXPRESSBUILDER

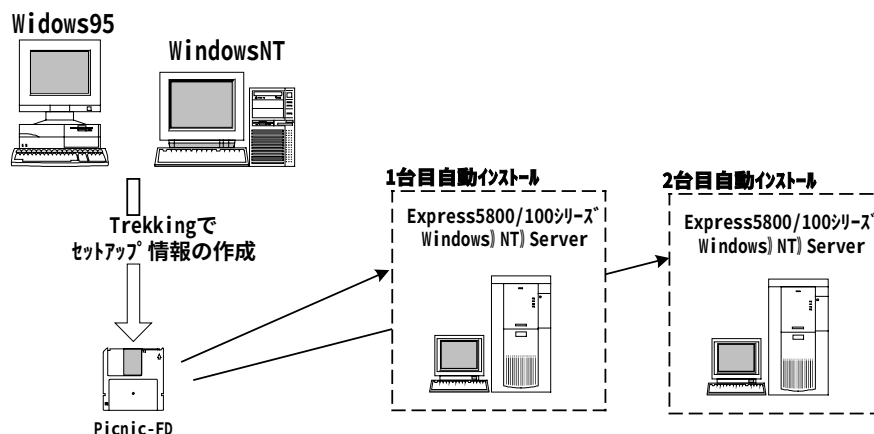
- ) EXPRESSBUILDER は、Express5800 シリーズをセットアップするための各種ユーティリティを CD-ROM1 枚に統合し、セットアップの簡便さを実現している
- ) ExpressPicnic を収録
- ) EXPRESSBUILDER の特長
  - (1)簡便性  
各種ユーティリティが 1 枚の CD-ROM に統合されたため、運用／保管が容易
  - (2)正確性  
自動的にハードウェア構成を判断して各種ユーティリティのパラメータが設定できる為、セットアップを正確に進めることが可能
  - (3)拡張性  
各種ユーティリティを個別に操作できる為、詳細なセットアップが可能

### 3.ExpressPicnic

- Express5800/100 シリーズ対応 Windows NT Server 4.0 自動インストールツール
- ExpressPicnic では、Windows NT Server 4.0 のセットアップ情報（マシン名、ネットワークプロトコル等）をセットアッププロセスの初期段階に入力する事でインストールを自動化し、オペレータの拘束時間を短縮できる。
- Trekking（セットアップ情報設定ツール）にて、予めサーバのセットアップ情報ファイルをFD(Picnic-FD)に作成し、Windows NT Server 4.0 のインストール時に読み込ませることも可能。大量導入時に活用できる。

設定内容を確認したい時は、Picnic-FD の内容を印刷することもできる。

\*Trekking は Windows 95、Windows NT Server 4.0 の動作する Intel 製プロセッサを搭載したコンピュータで動作可能。



### 4.セットアップ概要

EXPRESSBUILDER には 2 種類(簡易・カスタム)のセットアップ方法がある。

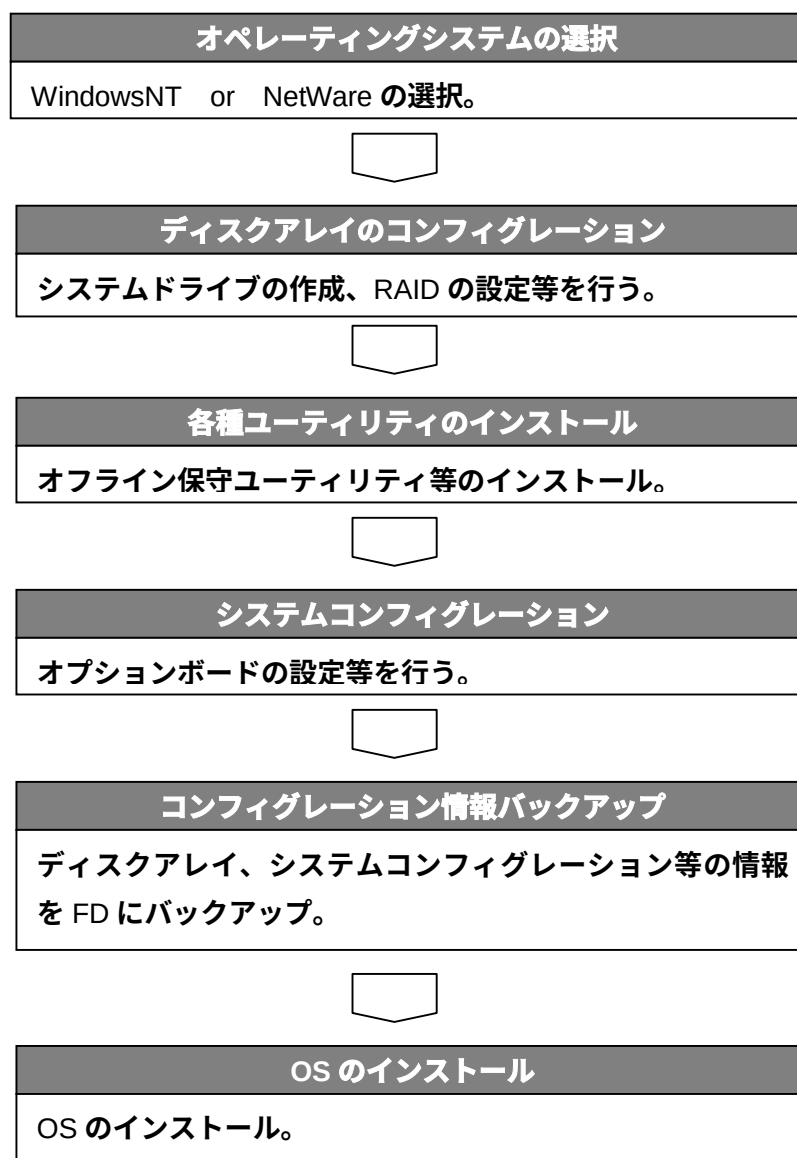
#### ・簡易セットアップ

EXPRESSBUILDER は、Express5800 のハードウェア構成を検査しセットアップに必要なユーティリティを起動して、適切な設定を自動的に行う。

#### ・カスタムセットアップ

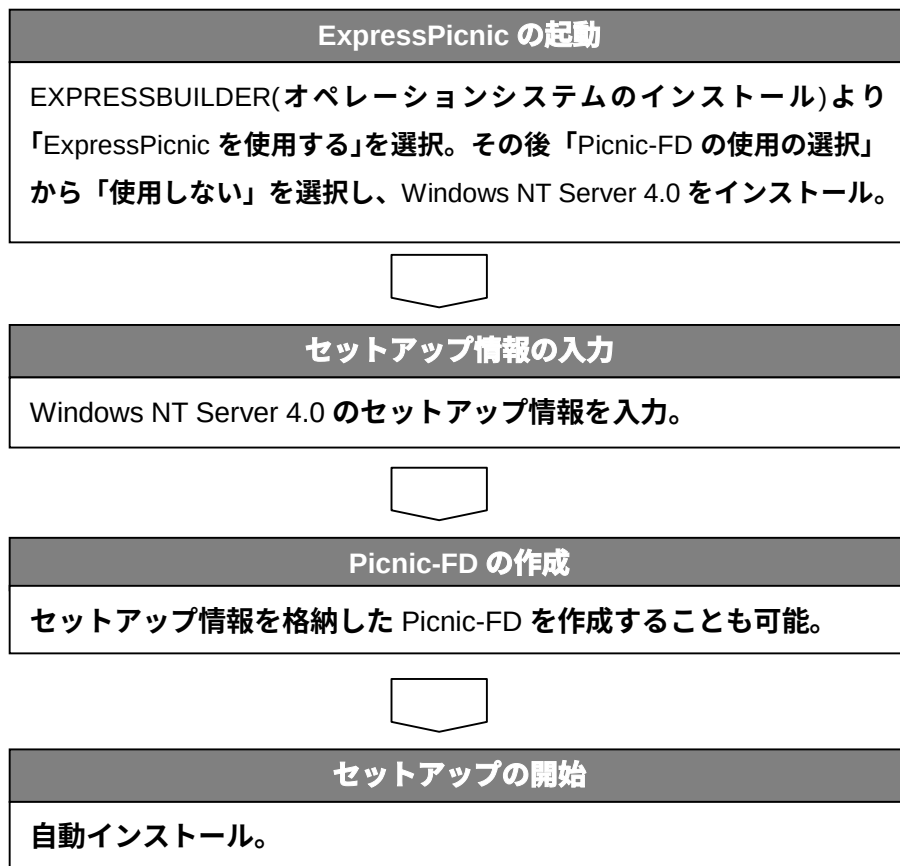
EXPRESSBUILDER に納められている各種ユーティリティを個別で起動し、手動にてセットアップを行う。また、システム診断やサポートディスクの作成等は、カスタムセットアップにて行う。

## ■EXPRESSBUILDER セットアップ概要フローチャート



## ■ExpressPicnic の使用方法

### ●通常の場合



●事前に設定情報を作成する場合

| Trekking コマンドのインストール                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Windows NT Server 4.0 のセットアップ情報ファイルを作成するためのツール(Trekking)を Windows95、WindowsNT4.0 で動作するコンピュータにインストール。 |



| セットアップの設定と Picnic-FD の作成                                           |
|--------------------------------------------------------------------|
| インストールした Trekking コマンドで、WindowsNT 4.0 のセットアップ情報を設定し、Picnic-FD を作成。 |



| ExpressPicnic の起動                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| EXPRESSBUILDER(オペレーションシステムのインストール)より「ExpressPicnic を使用する」を選択。その後「Picnic-FD の使用の選択」から「使用する」を選択し、Windows NT Server 4.0 をインストール。 |

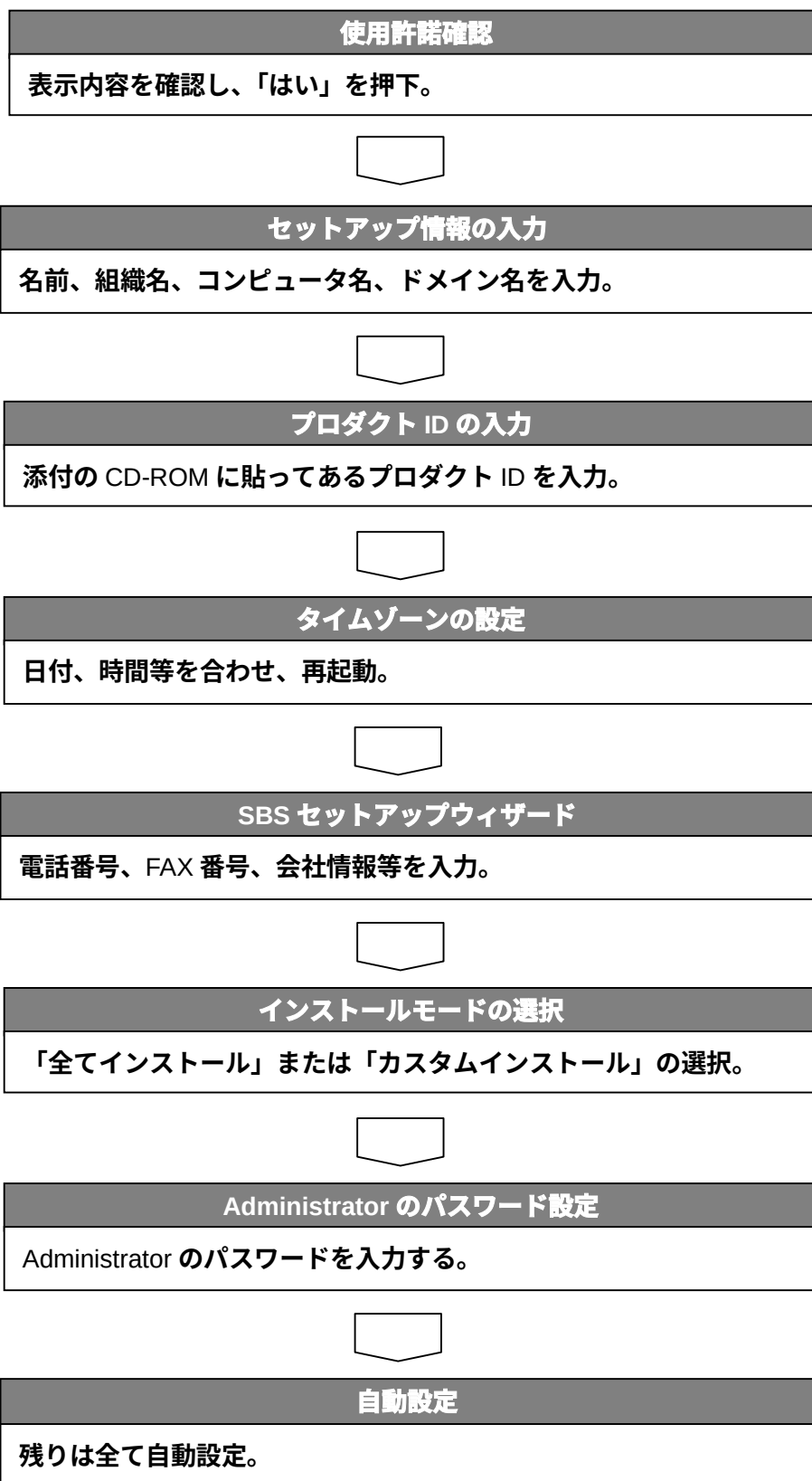


| セットアップ情報の確認／修正      |
|---------------------|
| セットアップ情報の内容を確認及び修正。 |



| セットアップの開始 |
|-----------|
| 自動インストール。 |

## ■ SBS プレインストールモデルのセットアップ概要フローチャート



## **5.注意事項**

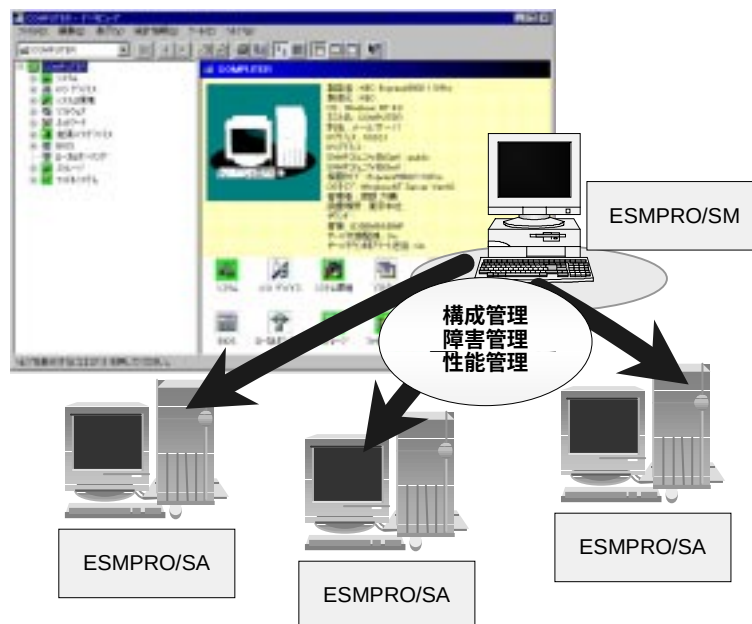
- )EXPRESSBUILDER を実行する場合、モデル名が同一であっても一部対応していない装置があるため、必ず CD-ROM が添付されていた装置においてのみ実行する事。
- )ExpressPicnic は Microsoft BackOffice Small Business Server 4.0 および Microsoft Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0 は未サポート。



# サーバ管理機能

## 1. ESMPRO/ServerManager-Agent

- サーバ管理ソフトウェア ESMPRO/ServerManager,ESMPRO/ServerAgent を本体にバンドル。
- ESMPRO/ServerManager(ESMPRO/SM)は、サーバの稼働状況、構成情報管理、障害管理などのサーバ管理機能とこれらの情報を参照するためのビューアを提供する。
- ESMPRO/ServerAgent(ESMPRO/SA)は、Express5800 に装備された障害監視機能およびオプション製品のサーバマネジメントボードと連携して、稼働状況、障害検出等の監視機能を提供する。  
ESMPRO/SA で監視する情報は、ESMPRO/SM から参照できる。



ESMPRO/SM,SA を利用して、1 台の管理 PC のもとでネットワーク上の複数台の Express5800 を一元管理する事ができる。サーバで障害が発生した場合、それを自動検出して管理者に通報する。また、障害箇所や障害内容、対処方法を表示するので、迅速な復旧作業が可能となる。更に、CPU 負荷率やメモリ使用量などのサーバ稼働状況を監視する事もできる。

## **2. ESMPRO 製品との連携**

- ESMPRO/SM は、統合ビューアであるオペレーションウィンドウ、サーバの情報を参照するデータビューアとサーバ監視のログを記録するアラートビューアで構成。
- ESMPRO 各製品を Express5800 にインストールすると、オペレーションウィンドウを中心として ESMPRO 製品との連携を実現。また、ESMPRO 各製品で発生したイベントもアラートビューアのログとして残る。

### **<連携する製品>**

- ESMPRO/ServerManager
- ESMPRO/ServerAgent
- ESMPRO/Netvisor(HUB 管理/ルータ管理/etc)
- ESMPRO/ClientManager
- ESMPRO/AlertManager
- ESMPRO/JMSS
- ESMPRO/FileTransfer
- ESMPRO/Relay
- ESMPRO/DeliveryManager
- ESMPRO/UPSController
- ESMPRO/AutomaticRunnnigController
- ESMPRO/PerformanceManager
- ESMPRO/PrintManager
  
- ARCserve for WindowsNT
- InocuLAN for WindowsNT

# サーバ管理機能

## ■Express5800/110Ea、120Ma、140Ha、180Ha

LAN(標準の 100BASE-TX)経由で管理用 PC と接続(シリアルインタフェースからの接続不可)。

## ■Express5800/110La、120La、140Ma

COM2(シリアルインタフェース)経由で管理用 PC と接続(100BASE-TX インタフェースからの接続不可)。

「オンボード・サーバ管理チップ」(サーバ本体に標準搭載)により、RAS機能を強化

